

ＪＡ三重信連（代表理事理事長 寺田好男）は、ＣＳＲ活動の取組のひとつとして、県下ＪＡバンクと共同で、１２月２２日にＮＰＯ法人エコキャップ推進協会が指定する再資源化事業者へ、ペットボトルキャップ約１０万５０００個（ＣＯ<sub>2</sub>削減量約７３２kg、ワクチン１２２人分相当）を寄贈しました。同法人はキャップの再資源化により得た収益で、発展途上国の子どもにワクチンを贈ることを目的に設立された団体です。

ＪＡ三重信連は、平成２１年から各事務室フロアーにキャップ専用の回収ボックスを設置し役職員に協力を促すとともに、県下ＪＡバンク主催「ＬＩＶＥ ｉｎ ＭＩＥ」の開催に合わせ各ＪＡに活動呼びかけるとともに、来場者にも提供を募った分を合わせて約６８万４０００個を寄贈しています。



（ＪＡ三重ビル本館で）